

令和 4 年度 of 取組報告

平成 25 年度からの 11 年間における県民の健康増進の総合的な推進を図るための、取り組むべき課題や方向性などを示した「三重の健康づくり基本計画」に基づき、各分野における取組を推進しています。

I 生活習慣病対策の推進

がん、糖尿病、循環器病等の生活習慣病に対して、食生活の改善や運動習慣の定着などにより、一次予防（生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病等の発症を予防すること）と重症化予防に重点を置いた対策に取り組めます。

1 がん対策の推進

(1) がん予防

- ① 市町及び検診機関に対して、がん検診精度管理の状況の調査を実施しました。がん検診を実施している市町の精度管理状況の確認及び集団検診実施機関の精度管理を行い、結果を通知し、改善を促しています。
- ② がん検診の受診率向上に向けて、ナッジ理論を活用した受診勧奨の取組事例を市町担当者間で共有するなど、市町の受診勧奨支援を行いました。
- ③ 教育関係者及びがん経験者が協力して小学生及び中学生を対象に、がん教育の授業を実施しました。

小学校	2校、	受講者	38名
中学校	5校、	受講者	530名



がん教育の様子

(2) がん医療

- ① 国が指定する「がん診療連携拠点病院」の令和 5 年度からの指定更新について、都道府県がん診療連携拠点病院として指定を受けていた三重大学医学部附属病院、地域がん診療連携拠点病院として指定を受けていた市立四日市病院、鈴鹿中央総合病院、松阪中央総合病院、伊勢赤十字病院が、いずれも国の検討会において承認されました。
- ② 国が指定する「小児がん拠点病院」の令和 5 年度からの指定更新について、三重大学医学部附属病院が国の検討会において承認されました。
- ③ 県が指定する「三重県がん診療連携準拠点病院」として、桑名市総合医療センターを新たに指定しました。
- ④ 平成 28 年 1 月に始まった全国がん登録では、診療所については、県の指定を受けた施設のみが届出を行うこととなっています。令和 5 年 1 月 1 日現在で、届出対象診療所は 171 施設となりました。
- ⑤ 県内のがん診療病院の施設及び設備の整備に対して補助（設備 1 件）を行い、がんに係る医療提供体制の充実を図りました。

⑥ 難治性がんである膵がんについて、地域のクリニック（かかりつけ医）でリスク診断し、中核病院や大学病院等につなぐことで、膵がんの早期発見と早期治療をめざす「膵がん早期発見プロジェクト」を、県、三重大学医学部附属病院、三重県医師会が連携し、県内全域で開始しました。



案内チラシ

(3) 患者支援

① 三重県がん相談支援センターにおいて、患者・家族に対する相談や交流会を通じた支援を行いました。

(令和5年1月までの実績)
 相談日時 月～金、第1日曜日、9時～16時
 相談方法 面接・電話・FAX・メール等
 相談件数 512件（電話474件、面談36件、オンライン2件）
 地域がんサロン活動 8地域、45回開催（うち、オンライン開催5回）
 サポーター研修会 2回開催

② 社会保険労務士によるがん患者就労相談を実施しました。

相談日時 第3火曜日、13時～16時
 場所 三重県津庁舎

③ 事業所に対して、がん患者の就労支援に関する啓発を実施しました。

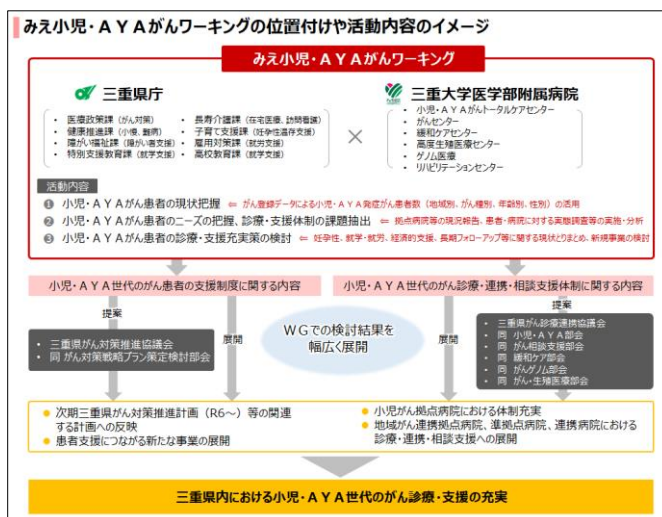
対象 企業人事・労務担当者等
 内容 セミナー・研修会等で就労支援について説明やチラシの配布、アンケートを実施



案内チラシ

④ 妊よう性温存を希望するがん患者に対し、費用の一部を助成しました。(令和5年1月までの実績：7件)

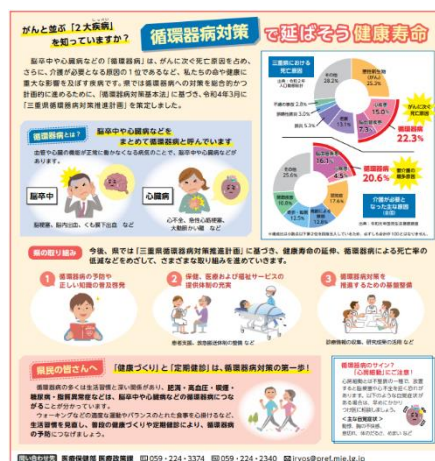
⑤ 三重県及び三重大学医学部附属病院の複数分野にまたがる関係者で構成する「みえ小児・AYAがんワーキング」を新たに立ち上げ、小児・AYA世代のがん診療・支援の充実に向けた検討を開始しました。



2 循環器病対策の推進

(1) 県民への啓発

- ① 循環器病の正しい知識の普及啓発について、「県政だより みえ」における特集記事の掲載や、FM三重でのラジオ番組を通して、循環器病に関する基礎知識や発症予防、県の取組などの周知を行いました。
- ② 第一生命保険株式会社との包括連携協定に基づき、循環器病に関するWebセミナー「脳と心臓に良い暮らし方」を開催し、国立循環器病研究センターオープンイノベーションセンター長による講演を行いました。



県政だより みえ

(2) 循環器病患者への情報提供・相談支援

- ① 循環器病患者やその家族が必要な情報にアクセスできる環境を整えるため、循環器病の治療法やその後のリハビリに関する情報を掲載した冊子の作成を進めました。
- ② 県内の循環器病に関わる情報提供や相談支援の拠点として、三重大学医学部附属病院内に「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が設置され、循環器病患者、家族に対する相談窓口の設置やホームページ等を通じた循環器病に関する情報提供や普及啓発の取組が開始されました。

3 糖尿病対策の推進

(1) 県民への啓発

- ① 世界糖尿病デー及び全国糖尿病週間の周知と、期間を通しての糖尿病予防啓発に取り組みました。
- ② 健康無関心層といわれる大学生等への効果的な啓発を実施するために、三重県栄養士会に委託し、デジタルツール等を活用した啓発の実証実験を行い、結果と評価をまとめました。このデータをもとに、より効果的な啓発について検討を深め実践していきます。
- ③ CKD（慢性腎臓病）対策のために、昨年度に引き続き、三重CKD委員会に委託し、CKDシールの活用した啓発を行いました。



(2) 人材育成

糖尿病性腎症重症化予防プログラム等に基づき、糖尿病の重症化予防に向けた専門的な支援ができる人材を広く育成するため、多職種（保健師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、歯科衛生士等）を対象とした研修をオンデマンド（令和3年度の動画の再配信）にて行いました。

〔開催期間 令和4年9月1日～令和4年9月30日〕
〔視聴回数 平均約95回〕

4 特定健診・特定保健指導受診率向上への取組

(1) 人材育成

関係職員が健診及び保健指導を効果的に実施できるよう、「特定健診・特定保健指導実施者研修会」をオンライン形式で開催しました。(2日間開催 受講者48名)

(2) 県民への啓発

市町の保健事業や広報等で、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上に向けて啓発を行うよう働きかけました。

II メンタルヘルス対策の推進

ストレスやこころの悩みを抱える県民が増加していることから、身体の健康とともに重要となる「こころの健康」の保持増進と、自殺者の減少を図るため、それぞれの課題に応じたメンタルヘルス対策を推進します。

1 自殺対策の推進

(1) 普及啓発

- ① 自殺予防週間（9月10日～16日）及び自殺対策強化月間（3月）にあわせて、県立図書館、県内大学、本庁舎等で自殺の現状についてのポスター展示やパンフレットの配布等の啓発を行いました。
- ② 自殺対策強化月間にあわせて、県内コンビニエンスストア等で、相談窓口を記載したチラシを配布しました。
- ③ インターネット検索エンジンで「死にたい」等の自殺に関連する用語を検索した者に対し、相談窓口のWebページを案内する検索連動型広告を活用し、三重県自殺対策推進センター（こころの健康センター）等の相談窓口に効果的につなげる啓発を実施しました。



自殺予防週間の啓発



自殺対策強化月間の啓発

(2) 相談支援事業

- ① 三重県自殺対策推進センターで「自殺予防・自死遺族専門相談」を実施しました。
- ② コロナ禍において自殺リスクが高まっていることをふまえ、「自死予防・自死遺族電話相談」をフリーダイヤル化するとともに、学校や仕事で相談しづらい方も多いと考えられることから夜間・休日自殺予防電話相談を実施しました。
- ③ コロナ禍で感染への不安や自粛生活でのストレスを抱えている方が増加して

いると考えられることから、「新型コロナウイルス感染症に関するこころのケア相談」を実施しました。

(3) 若年層の自殺対策（自殺予防教育の推進）

- ① 児童・生徒・学生への出前事業を実施するとともに、保健医療及び教育関係者等を対象とした研修会を開催しました。
- ② コロナ禍において若者の自殺リスクが高まっていることをふまえ、若者に身近なコミュニケーションツールである SNS（LINE）を活用した相談窓口「こころつなぐ SNS 相談みえ」を実施しました。
- ③ コロナ禍で若者が孤立感を抱えやすい状況にあることから、若者による検討会を立ち上げ、若者の視点による啓発動画の作成及び啓発方法の検討を行いました。作成した動画については3月の自殺対策強化月間で活用して啓発を行いました。

(4) うつ病対策事業

自殺予防について、かかりつけ医等の関心と知識を深めるため、「かかりつけ医等うつ病対応力向上研修」を3月26日に実施する予定です。

(5) 自殺未遂者支援事業

医療従事者等の自殺未遂者への支援に対する理解を深めるため、「自殺未遂者支援向上研修」を実施しました。

(6) 自死遺族支援

- ① 自死遺族の集い「わかちあいの会」を開催しました。（奇数月の第4土曜日）
- ② 自死遺族について適切な理解と望ましい対応や心がけについて学ぶことを目的に「自死遺族支援者研修」を実施しました。

(7) 関係機関・団体との連携

- ① 24市町・12団体が「地域自殺対策強化交付金」を活用し、地域の実情に応じた自殺対策に取り組みました。
- ② 2市町・1団体が「新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金」を活用し、新型コロナウイルス感染症に対応した自殺対策に取り組みました。
- ③ 県下全体で県・市町・関係団体とのネットワーク会議を開催しました。
- ④ 自殺対策に関わる支援者が自殺の現状を理解し、課題や今後の取組について共有することを目的に、自殺対策関係者研修会を実施しました。

(8) 進捗管理等

- ① 三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会及び三重県自殺対策推進会議等において、「第4次三重県自殺対策行動計画」策定に向けた検討を行いました。

Ⅲ ライフステージに応じた健康づくりの推進

県民が生涯を通じて、生活の質（QOL）を維持・向上させ、自立した日常生活を営むことができるよう、適切な生活習慣の定着に向けて、ライフステージに応じた健康づくりを推進します。

1 健康食育の推進

(1) 県民への啓発

バランスのとれた食事をはじめ、野菜摂取や減塩を推進するため、多様な主体と連携した啓発を行いました。



県立図書館とのコラボ啓発

(2) 「健康野菜たっぷり料理グランプリ（ベジ-1グランプリ）」の実施

県民が今より野菜を多く摂取し、自ら健康的な食生活を実践できることを目的に「第9回健康野菜たっぷり料理グランプリ（ベジ-1グランプリ）」を実施しました。野菜をたっぷり使った栄養バランスのとれたお弁当レシピを、チラシやテレビ、ラジオ、SNS等の広報媒体を用いて、広く県民に募集しました。応募作品は、一次審査で選ばれた優秀作品のレシピやPR動画を県ホームページにて発信、さらに、県民参加によるWeb投票でグランプリを決定しました。（応募作品数 185点）



募集チラシ



入賞者PR動画
撮影の様子



Web投票により決定した最優秀賞作品
「体いたわり弁当」

(3) 飲食店等を拠点とした健康づくり普及啓発事業

健康づくり応援の店の登録や更新を行い、食環境の整備を行いました。

（令和5年1月末登録件数 438件）

(4) 研修会の実施

健康増進法による給食施設指導並びに管理者及び従事者を対象とした研修を実施し、給食施設の栄養改善を図りました。

① 給食施設アンケート調査の実施

県内の特定給食施設等を対象に危機管理体制の整備状況及び備蓄食の状況等の把握し、課題に応じた必要な情報提供することで、施設における災害時の食事提供体制の強化を図ることを目的にアンケートを実施し、結果と共に、アンケートで浮き彫りになった課題に対するポイントや参考資料等を県のホームページで公開しました。

回答施設数 866施設（特定給食施設 443施設、一般給食施設 423施設）

② 給食施設従事者研修会

開催方法 期間限定でWeb配信（保健所主催で開催）

(5) 栄養成分表示の活用促進事業

健康増進法及び食品表示法に基づき、食品事業者等へは食品の栄養成分表示等の指導を行うとともに、三重県栄養士会に委託し、栄養成分表示の正しい理解や活用方法について、大学と連携し学生に指導を行いました。また、講義前後にアンケートを実施し指導効果を評価しました。

対象者：栄養士養成施設及び看護学校学生 195人

(6) 人材育成

管理栄養士臨地実習を受け入れ、コロナ禍の状況をふまえ、学生へのオンライン講義等の指導を行い、人材育成支援を図りました。

2 たばこ対策（受動喫煙防止対策）の推進

(1) 「たばこの煙の無いお店」促進事業（平成18年3月～認定開始）

三重県食品衛生協会に委託し、終日禁煙を実施している飲食店等を「たばこの煙の無いお店」として認定しています。認定証及びステッカーを発行し、県ホームページにて認定店舗を紹介しています。（令和4年12月末現在 598店舗）

(2) 啓発活動

世界禁煙デー（5月31日）及び禁煙週間（世界禁煙デーに続く1週間）にあわせて、禁煙啓発を実施しました。

(3) 受動喫煙防止対策の推進

啓発チラシやポスター等を用いて、法の趣旨や内容等の普及啓発活動を積極的に行いました。

3 歯科保健対策の推進

(1) 県民への啓発

県民一人ひとりが自ら歯と口腔の健康づくりに取り組む機会として、①「歯と口の健康週間」（6月4日～10日）、②「いい歯の日」（11月8日）・「8020推進月間」（11月）に、市町、関係機関・団体等と連携し、歯と口腔の健康づくりの重要性について啓発しました。

① 「歯と口の健康週間」

期間・場所 令和4年5月30日～6月3日 県民ホール
令和4年6月1日～6月29日 県立図書館

内容

- ・ 歯科保健ポスターの掲示
- ・ 歯科保健リーフレットの配布
- ・ 歯科口腔保健リーフレット、チラシ、歯ブラシの配布

② 「いい歯の日」・「8020推進月間」

期間・場所 令和4年11月7日～11月11日 県民ホール
令和4年11月2日～11月29日 県立図書館

内容

- ・ いい歯の日及び8020推進月間チラシの配布
- ・ 歯科保健ポスターの掲示
- ・ 歯科保健リーフレットの配布
- ・ 歯科口腔保健リーフレット、チラシ、歯ブラシの配布

(2) 地域口腔ステーションの整備

地域の歯科保健医療を推進する拠点として、郡市歯科医師会11か所に地域口腔ケアステーションを整備しています。地域口腔ケアステーションに協力する歯科医療機関に対して、訪問歯科医療機器の整備を行い、より多くの在宅歯科医療の依頼に対応できる体制の構築を図りました。（申請件数 21件）

(3) 障がい者センターでの歯科診療の実施

障がい児・者が安心して歯科疾患の治療や予防のための歯科受診ができるよう、専門的知識や熟知した技術を持つ歯科医療職種が従事する、障がい者歯科センターでの歯科診療を実施しました。（診療日数年間 90日）

(4) 「三重の歯科保健」の作成

歯科口腔保健の推進に携わる市町、関係機関・団体や庁内関係課及び教育委員会とともに、歯科口腔保健に係る取組状況及び歯科疾患のデータを一元的にとりまとめ、状況把握を行い、冊子「三重の歯科保健」を作成し、情報の共有・提供を行いました。

IV 「協創」による健康な社会環境づくりの推進

個人の健康づくりは、家庭や地域、職場などの社会環境から大きな影響を受けると考えられることから、さまざまな関係者と連携・協力して、県民の健康づくりのための社会環境づくりに取り組めます。

1 三重とこわか県民健康会議

人生 100 年時代の到来を見据え、「誰もが健康的に暮らせる“とこわか三重”」の実現に向け、企業、関係機関・団体、市町等が一体となって、県民自らが主体的に取り組む健康づくりや企業における健康経営の取組を推進しています。

(1) 広報誌の発行

三重とこわか健康経営大賞受賞企業の取組を紹介する広報誌「とこわか県民健康 news」を発行し、103 名の構成員を中心に配布するとともに、県ホームページに掲載しました。

2 三重とこわか健康マイレージ事業

県民の健康寿命の延伸をめざし、県民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、社会全体でその取組を応援する環境づくりを進めるため、市町や企業と連携し、「三重とこわか健康マイレージ事業」を実施しました。

取組市町 29 市町（平成 31 年 1 月 4 日～）
マイレージ特典協力店 1,090 店舗（令和 5 年 1 月末日現在）
マイレージ取組協力事業所 160 か所（ ” ” ）

(1) 周知啓発

県立図書館や県民ホールにおいて啓発活動を行いました。

(2) 地産地消と連携した取組

県民の皆さんが三重県産品を食べて元気になれるよう、地産地消と連携した健康づくりの取組を行っています。

令和 5 年 2 月 16 日、マックスバリュ東海株式会社様より、三重県にゆかりのある商品で構成される「三重県ありがとう」キャンペーン対象商品の売り上げの一部を寄附いただき、贈呈式を行いました。



贈呈式の様子



(3) デジタル技術の活用に向けた市町支援

「三重とこわか健康マイレージ事業」をはじめとする市町における健康づくりの取組にSNSを活用できるよう、専門家による支援を受けることができる環境を提供することで、各市町の実状に応じた取組が進みました。

3 三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）

多くの県民の皆さんが一日の大半を過ごす職場での健康づくりが重要であることから、「三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）」認定制度を設けています。

(1) 「三重とこわか健康経営カンパニー2022」の認定

令和4年7月、236企業を認定し、県ホームページへの掲載等の情報提供を行いました。また、認定証を交付するとともに、名刺やホームページ等で活用いただける認定マークを提供しました。

(2) 「三重とこわか健康経営大賞2022」の表彰

令和4年9月、236の認定企業の中から応募いただいた24企業のうち、三重とこわか県民健康会議幹事会等による審査を経て、特に優れた健康経営を実践している4企業を表彰しました。



受賞企業の皆様

(3) 「三重とこわか健康経営促進補助金」の交付

企業における健康経営の取組を促進するインセンティブとして、認定企業に対して、DX（デジタルトランスフォーメーション）を取り入れた健康経営を加速させる健康づくりの取組に要する経費の一部を助成しました。